

教育職員免許法施行規則第22条の6に基づき、課程認定における情報を公開いたします。

教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

学年	関連科目	授業方法	関連する授業内容（抜粋）	授業計画
1年次	情報リテラシー	講義と演習	情報とそれを取り巻く情報環境まで視野を広げ、それらの正しい知識と基礎的な利用法を修得するとともに、情報化社会におけるコンピュータや情報の役割と意義について問題意識を養うための内容について学ぶ。	2単位
1年次	医療人底力実践Ⅱ (データサイエンス)	講義と演習	アクティブラーニングにより、プレゼンテーションを行う上で必要な知識や技術、態度などを課題を通じて学ぶ。自ら決めたテーマについて「調べる」「まとめる」「伝える」を繰り返し、チームメンバーのいろいろな意見を参考にしながら、個々にプレゼンテーション資料を作成し発表する。	2単位
1年次	スポーツと科学	講義	スポーツ(運動)生理学、スポーツバイオメカニクス、栄養学、スポーツ心理学、体育史、体育社会学、スポーツ経済学などの多様な分野について、スポーツや身体活動について科学的に学ぶ。	1単位
1年次	スポーツと科学健康	講義	スポーツを含む身体的な活動と健康との関係について、食習慣や運動習慣などの生活習慣と健康との関係について学ぶ。	1単位
1年次	英語Ⅰ	講義	基本語彙の修得、基本文法の理解、自律的な辞書の使用、などの基礎力を活用して平易な英文の読解力の養成を目指し、英語学習する。	2単位
1年次	英語Ⅱ	講義	英語Ⅰで培った語彙、文法、辞書利用の力の向上・定着を図り、さらに基本的なライティングによる表現力、まとまった長さの英文の確実な読解、英語での表現を学ぶ。	2単位
2年次	憲法	講義	職業人として不可欠な人格の尊厳と生命の尊重の重要性に関する理解を深め、自己及び他者の権利に配慮する意識を習得するとともに、倫理と憲法との関係性を理解し、倫理と憲法に関する権利義務について自ら主体的に判断できるようにすることを目的として学ぶ。	2単位
2年次	保健情報統計	講義と演習	保健・医療に必要な情報学及び統計学の基礎的知識、技術、態度などを学習する科目である。保健と情報科学との関係について理解を深め、保健活動及び健康管理におけるコンピュータの利用や保健医療情報ネットワークシステムの現状と課題について学ぶ。さらに、保健活動や疫学調査のみならず、看護研究のために必要な統計的方法として、記述統計学及び推測統計学の基礎的知識・技術について理解を深め、保健データの収集から分析に至るまでの一連のプロセスを学ぶとともに、演習を通して統計的解析の実践的能力を養う。	2単位
2年次	成人看護学概論	講義	ライフステージの大きな位置を占める成人期にある人々の特徴として、身体的・精神的・社会的・スピリチュアル側面を理解し、ライフスタイルと健康障害について学ぶ。成人期の健康レベル（救急・急性期、リハビリテーション期、慢性期、終末期）について、家族支援を含めた看護実践の重要性を学ぶとともに、多職種連携の大切さを認識し、成人看護に関連する基礎理論を基に看護過程を展開し、看護実践に活かすことを考える。	2単位
2年次	小児看護学概論	講義	小児期の特徴を、身体的・心理的・社会的側面から総合的に学ぶ。子ども親や小児看護の歴史の変遷、小児看護の理念・目標、役割と機能について、子どもの健康を維持するための成長発達理論および小児各期の特徴をふまえた日常生活援助論について学ぶ。主な内容は、小児医療の現状と課題、子どもの保健衛生統計、小児保健医療福祉行政の動向と対策、子どもの成長と発達、小児各期に合わせた日常生活援助についてである。これらの学修を基礎にして、子どもと家族がより良く生きていくための小児看護の援助技術を学び、小児看護の実践力を身につける。	2単位

学年	関連科目	授業方法	関連する授業内容（抜粋）	授業計画
2年次	母性看護学概論	講義	女性のリプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の概念とともに、女性のライフサイクルのなかの思春期・成熟期・更年期・老年期における発達課題と健康生活およびそれらの環境要因について学ぶ。また、妊娠期から産褥期における母性・父性の発達と親役割、家族機能、家族の発達とその支援、現代社会における女性の健康をめぐる課題と今後の母性看護の目的や役割を考察する。	2単位
2年次	老年看護学概論	講義	人生の最終段階における尊厳ある生活の支援のために、老年期にある人への看護の方法を理解することを目的とする。超高齢社会の現状や加齢による心身の変化の特徴から老年期についての理解、ライフサイクルの最終段階にある老年期にある人の固有性と生活への影響を全人的に捉え、高齢者の健やかな生活と老年期にある人々のQOLの向上を目指す看護に必要な理論を学ぶ。	2単位
2年次	精神看護学概論	講義	精神看護の概念を理解し、心の健康／不健康とは何か、こころのメカニズムやライフサイクル、精神保健に関連する諸問題について学ぶ。精神疾患の病態や治療の概要を学修し、現在の精神保健医療福祉に関連する歴史や法律、精神保健福祉施策を学ぶ。人の心の動きや、精神保健（年代や状況によって生じる危機状況など）を学ぶことで、対象となる人をより深く理解できることを目指す。	2単位
2年次	在宅看護学概論	講義	わが国の在宅看護の歴史、社会の変化と在宅看護のニーズ、在宅看護の法的基盤と在宅ケアシステム、在宅看護と保健・医療・福祉の連携、在宅ケアマネジメントと在宅チームケアについて理解し、在宅ケアにおける訪問看護の機能、在宅ケアにおける職種間の連携のあり方、様々な対象者への訪問看護が適切に展開できる基本的知識・技術・態度を学ぶ。	2単位
2年次	公衆衛生看護学概論	講義	人々の健康の保持・増進をめざし活動を展開してきた公衆衛生看護の歴史を振り返り、活動や対象の特性について学ぶ。公衆衛生看護活動に必要な概念や理論を学ぶ。地域に生活する個人、家族、集団における人々の健康と社会環境との繋がりを捉え、保健関連行動や公衆衛生看護の役割などについて身近な事例を基に考え学ぶ。学校保健については、看護の変遷及び看護職の就労の場の1つとして学校保健活動を学ぶ。	2単位
3年次	保健師医療福祉行政論	講義	わが国における保健医療福祉制度の変遷を学び、保健医療福祉行政・財政の理念と仕組みについて学ぶ。公衆衛生の発展過程と行政の役割と活支援活動を理解し、保健医療福祉制度の概要・医療保健福祉制度の変遷と現状を理解したうえで、母子（学校保健含む）、成人、高齢者、障がい者に関する諸制度と支援体制やその仕組みを学ぶ。	2単位
3年次	公衆衛生・疫学	講義	人々の健康障害の予防・健康増進・環境保全を図るために必要な公衆衛生学及び衛生統計の基礎的知識、技術、態度などを学ぶ。また活動展開のうえで必要な健康問題の発見・分析・解決に必要な疫学の原理と方法について学。の実践に必要な各種疾病の疫学の知識、技術及びライフステージに対応した健康管理の方法について学ぶ。学校と健康（学校保健の構造、子どもの健康課題、養護教諭の役割と活動の展開）についても学ぶ。	2単位
3年次	護とヘルスプロモーション	講義と演習	学校におけるヘルスプロモーションについて事例を通して学び、演習では若者の自殺予防についてグループで計画を作成し発表する。	2単位
3年次	看護倫理学	講義と演習	看護実践における倫理的視点を身につけ、看護の対象者の尊厳と権利を擁護する看護のあり方について考える。また、複雑化、多様化する医療現場で、どのような倫理的問題があるのか、その時に看護師が担うべき役割は何かを知る。演習では、これまでの臨地実習で遭遇した倫理的問題を踏まえて、あるいは今後臨床で起こりうる倫理的場面を想定し、グループでディスカッションする。他者との意見交換を通して、倫理的問題に関する視野を広げ、倫理的問題に気づく感性を磨く。	1単位

学年	関連科目	授業方法	関連する授業内容（抜粋）	授業計画
3年次	国際看護論	講義	国際保健・国際看護の意義、国際協力の構造と機能、国際保健機関・世界保健医療の問題に対する対策やシステム、及び国際看護師協会の役割・活動等、世界的な視点（マクロ）で人々の健康維持・増進について学ぶ。また、世界の異文化の理解による基礎的な学習を活かして、国際看護における個人・地域住民（ミクロ）な視点から諸外国の人々の文化に沿った保健・看護の実践について考察する。国際医療の抱える問題・看護実践の現状について考える。	1単位
3年次	看護専門ゼミナール	講義と演習	研究に必要な基本基礎的知識と過程を学ぶ。研究課題に応じた研究デザインやデータ処理について学び、文献検索やクリティークの手法を取得する。	1単位
3年次	公衆衛生看護活動展開論・演習	講義と演習	母子保健活動について、小児の発達・課題と支援（思春期の特徴・課題と支援も含む）について事例を通して学ぶ。学校保健活動について、学校保健活動の目的や概要、養護教諭の役割について、事例を通して学ぶ。演習では、小児の発達課題や思春期の健康課題に関する相談事例を用いた演習を実施する。	2単位
4年次	看護の統合	講義	これまでに学んだ知識・技術を統合し、根拠に基づいて看護上の問題を解決する思考力・判断力を高めることを目的としている。①看護に必要な人体の構造と機能についての理解②疾病の成り立ち、診断と治療、健康障害と回復の過程についての理解③看護の対象である個人・家族・集団の機能についての理解④人々の健康な生活のためのわが国の社会保障・福祉に関する法律・制度についての理解⑤看護の基本的な概念の理解⑥看護技術を適用する判断の元となる基本的知識の明確化⑦看護対象者の発達段階と特徴の理解⑧発達段階各期の疾病の特徴、治療、回復のプロセスと必要な看護についての理解⑨多様な背景や状況にある対象者を理解し、看護を提供するための判断基準についての理解	2単位
4年次	災害看護論	講義	近年の地震・津波・洪水の現場において実際に看護がなされている。災害看護とは、「災害に関する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開すること」と定義されており、防災から初期及び中長期的活動を含むものとしてとらえ、各時期の看護の役割を知り、具体的な事例を通して学ぶ。	2単位
4年次	公衆衛生看護管理論	講義と演習	既習の科目で習得した知識・技術を統合し、実習地域の「地域診断」を実施する。地域診断演習を通して、地域の健康課題を抽出する。健康課題の中で小児や思春期等の課題にも触れ、その背景について検討する。	1単位
4年次	卒業論文	演習	「看護専門ゼミナール」における学習成果をもとに、これまで学習の中で感じた疑問を自らの研究課題として設定し、課題に適した方法を用いて、研究疑問や課題を論文形式にまとめる。 看護に関連する疑問から目的を設定する発見する力、研究を計画・実施する力、結果を論理的に考察し、論じる力、提示された書式を守り表現する力を養う。	2単位
4年次	公衆衛生看護学実習	実習	地域特性を踏まえ、人々の健康の保持増進・健康障がい予防のために、行政が提供する公衆衛生看護活動の見学または実施をとおして、基本的能力を習得する。具体的には、保健所、市町での保健活動を通して、小児の発達課題を有する事例への支援、幼稚園・小中学校・高等学校等の教育機関と行政との連携（ネットワーク会議への参加）や、不登校や引きこもり等の事例への支援、自殺予防対策に関する教育媒体の作成や児童生徒にかかる健康教育等を実施する。	5単位